

報告事項 4

愛知県立海翔高等学校のコース改編について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成26年9月3日

高等学校教育課

海翔高等学校のコースの改編について

1 概要

県立海翔高等学校の「環境コース」を、平成 27 年度から「環境防災コース」に改編する。

2 経緯

県立海翔高等学校は平成 17 年度に普通科（普通コース、環境コース、スポーツコース）と福祉科を併置する学校として開校された。

このたび、学校から「環境コース」を「環境防災コース」に改編する旨の要望があった。

3 改編の趣旨

これまでの「環境コース」における、人間と自然環境との関係についての学習を基礎としつつ、自然災害のメカニズムや防災に関する学習を行い、防災や減災についての実践力を磨き、地域における防災リーダーとなる人材を育成する。

4 改編後の学級編制

	現行	改編後
普通科	普通コース4学級 (うち、環境コース20名 スポーツコース20名)	普通コース4学級 (うち、環境防災コース20名 スポーツコース20名)
福祉科	1学級	現行と同じ

5 改編理由

- (1) 海翔高校が立地する地域は、海拔0メートル地帯であり、地震とそれに伴う津波等による甚大な被害が予測されている。防災リーダーの育成が地域にとって喫緊の課題となっている。
- (2) 併設している福祉科との連携により、被災時における避難所での支援やボランティア活動について、座学だけではなく、実習や校外活動を通じた体験的、実践的な学習を行うことが可能である。
- (3) 平成22年度以降、環境コースへの希望者が減少し、20人の定員を満たさない状況であり、魅力あるコースへの改編が求められている。

6 改編後の指導体制

これまで、環境コースのコース科目を全て理科の教員が担当していたが、新たに設置される環境防災コースでは、理科に加えて地歴・公民科、福祉科、数学科、情報科の教員が担当する。

7 環境防災コースのカリキュラム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
1年	国語総合			現代社会	数学			化学基礎	体育	保健	音楽	コミ英語	英語表現	家庭基礎	環境防災基礎	環境科学基礎	総合的な学習の時間	H	R													
単位数	4			2	4			2	3	1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	
2年	現代文B	世界史A	地理A	数学	数学A	生物基礎	体育	保健	コミ英語	社会と情報	現代英語C	スポ理論	地域と防災	環境科学	総合選択	総合的な学習の時間	H	R														
単位数	3	2	2	3	2	2	2	1	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	
3年	国語表現	現代文B	地理A	日本史A	数学	数学B	地学基礎	体育	コミ英語	課題研究	防災情報	地域と防災	環境科学	総合選択	総合的な学習の時間	H	R															
単位数	2	3	2	2	2	3	2	2	4	3	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	

8 環境防災コースの学校設定科目の科目名、履修学年、担当教科、学習内容

環境科学基礎【1年】(理科)

従来の環境コースの学習を引き継いで、人間活動にともなう生じる環境問題を化学や生物の基礎的な知識とともに学習する。また、実験・実習の基礎的素養を培う。

環境防災基礎【1年】(公民、福祉)

地球環境に関する現状と課題や、過去の大災害発生時における課題を見つけ、命の大切さや助け合いの精神を養う。また、最新の防災関連知識や自然環境と災害の関係などを学習し、防災学習の基礎を学ぶ。

環境科学【2年】(理科)

これまで環境コースとして培ってきた環境教育のノウハウを引き継ぎ、私たちを取り巻く環境を理解し、分析するとともに、環境改善について考察しながら、3年次に履修する「環境科学」へ向けた基礎力を養う。

地域と防災【2年】(公民、数学、福祉)

地域の災害の歴史や地域の災害時支援のあり方等を住民の視点や介護・ボランティアの立場から考える。また、環境・防災問題への社会的関心を、家庭・学校・職場そして地域で高めるため必要なことを、大学や関係機関からの外部講師による講義や校外学習を通じて体験的に学ぶ。

環境科学【3年】(理科)

2年次に履修した「環境科学」を発展させ、環境負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築に必要な環境学習をさらに深める。その際に必要な調査・分析の方法についても学習する。

防災情報【3年】(情報)

過去の事例などから災害時における正しい情報の伝達のあり方を学ぶ。また、最新の情報伝達の仕組みなど幅広く災害時の情報伝達の方法を学ぶ。

地域と防災【3年】(公民、福祉)

2年次に履修した「地域と防災」をさらに発展させる。自然災害からの脅威を克服し、安全・安心な地域づくりや社会基盤をデザインし、減災について考察する。

課題研究【3年】(理科、公民、福祉)

環境防災コースとして学んできた内容から、各自がテーマを設定しより深く研究・実践したものの集大成として報告書をまとめ、発表する。

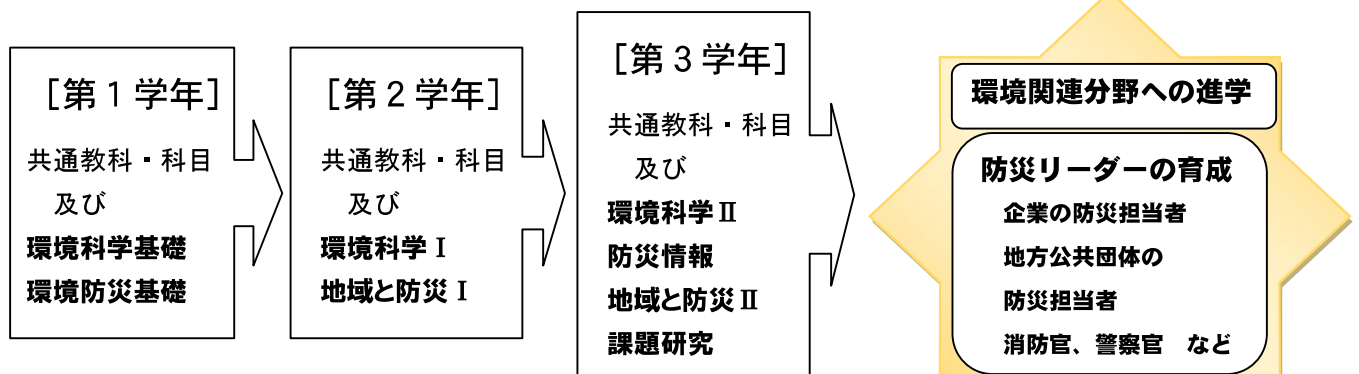
県立海翔高等学校の環境コースを 環境防災コースに改編します。

環境防災コースでは

- ☆自然環境に関する学習と自然災害のメカニズムや防災に関する学習をします。
- ☆よりよい環境開発を理解し地域社会に貢献できる人材を育成します。
- ☆防災や減災についての実践力を磨き、防災リーダーとなり得る人材を育成します。



3年間の学習内容と進路



※ 県立海翔高等学校の所在地：弥富市六條町大崎 22